2009年度

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 児童福祉論Ⅰ | | | | |
| 担当教員 | 農野　寛治 | | | | |
| 配当 | 教福2 | | | コード | 54340 |
| 開期 | 前期 | 講時 | 金曜日4限 | 単位数 | 2 |
| 授業テーマ | 児童福祉の理念と関連諸法制度の概要を学び、子ども家庭福祉のための資源と援助の方法を理解する。 | | | | |
| 目的と概要 | 子どもにかかわる専門職に求められる児童福祉の基本的な知識を習得することを目標としている。ただ単に講義を聴いているだけでは、不十分であり自ら学び取る姿勢を強く求める。 | | | | |
| 成績評価法 | 受講態度・授業中の確認テスト・筆記試験など、総合的に評価する。 | | | | |
| テキスト | シリーズ・はじめて学ぶ社会福祉3『児童福祉論』大島侑　監修 ミネルヴァ書房 | | | | |
| 参考書 | | | | | |
| 履修に当たっての注意・助言 | 授業を受けるだけにとどまらず、自らの学びが必要。 | | | | |

講義計画

1) プロローグ・子どもの福祉／子どもをどう護るのか？
⊿子どもとは誰か？…各法による子どもの保護規定
⊿もしも親を亡くしたら…親権・保護者・未成年後見人・親権代行者等の法的保護者
2) 子どもの福祉の理念／子どもの権利
　⊿子どもの権利条約の制定経過
　⊿子どもの権利条約の概要
3) 子どもに関わる法律
　⊿法の階層構造と児童福祉法の概要
　⊿児童福祉に関わる諸法
4) 現代の児童福祉／社会的子育て支援の2本柱・保育施策と児童虐待対策
　⊿国・都道府県・市町村の役割
　⊿次世代育成支援施策と児童虐待防止対策
5) 児童福祉の歴史／子どもの福祉の曙・明治時代以降の取り組み
　⊿明治時代の篤志家とその実践
　⊿大正時代の社会事業、戦後の福祉法制度の構築
6) 児童福祉に関わる機関・相談支援機関とソーシャルワーク
　⊿児童相談所と市町村相談窓口
　⊿要保護児童対策地域協議会
7) 児童福祉に関わる施設・児童福祉施設とケアワーク
　⊿児童福祉施設の種別
　⊿児童福祉施設最低基準の概要
8) 健やかに生まれ育つために
⊿母子保健法と母子保健施策の概要
⊿保健所・保健センター
9) 子育てするにはお金がかかる
⊿児童手当等の諸手当制度の概要
10) ひとり親家庭の福祉
⊿ひとり親家庭の状況
⊿母子及び寡婦福祉施策の概要
11) 障害児施策
　⊿地域療育体制
　⊿障害者自立支援法と発達障害者支援法
12) 要保護児童福祉施策（1）子ども虐待への対応
　⊿子ども虐待問題への取り組み経過
　⊿施設内虐待
12) 要保護児童福祉施策（2）非行対策
　⊿少年事件と少年法
　⊿児童福祉法体制との役割分担
14) 諸外国の児童福祉
　⊿北欧と欧米
　⊿日本の児童福祉のめざすもの…社会的子育て支援
15) まとめと今後の学びのために